

2022年度 鉄道安全報告書



上田電鉄株式会社

ごあいさつ

上田電鉄の安全報告書をご覧いただき、誠にありがとうございます。

鉄道事業は、施設・車両の不具合やヒューマンエラーに加え、甚大な被害をもたらす異常気象など様々なリスクがあり、安全を確保するには、このようなリスクをしっかりと認識し対応していくことが重要であると考えております。本報告書は、このような考え方に基づき、より安全性を高めるための方針や施策を報告するものです。

別所線は2021年6月開業100周年を迎える事ができました。1921年（大正10年）の開業以来、幾多の困難もありましたがここまでこられましたのも、ひとえにご利用のお客様や沿線の皆さまの支えにによるものと心より感謝申し上げます。

さて、私どもは前年に引き続き安全性や信頼性の向上を目指して、レール・枕木の交換、軌道道床の硬質構造化、踏切の更新などを実施いたしました。また、運用面においても異常時訓練や業務研究会の開催など継続的に取り組んでおります。

鉄道をご利用のお客様や沿線にお住いの皆様、加えて、社員や協力企業メンバーの「安全・安心」を確保し、地域から信頼される鉄道であり続けられるよう、取り組んでまいります。本報告書でのお気づきの点やご意見などをお寄せいただければ幸いです。

2022年 7月

上田電鉄株式会社

代表取締役社長 山本 修

1. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全・安心の確保です。「安全方針」「行動規範」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しています。

【安全方針】

「安全の確保」は鉄道事業の最大かつ最重要の、お客さまに対する責務である。その安全は、役職員一人ひとりがルールの意味を認識しかつ遵守し、正則作業を確実に遂行することによって支えられている。

私たちは鉄道事業を担う誇りを共に持ち、役職員相互の双方向コミュニケーションをしっかりと行い、安全の障害となる問題を一体となって速やかに解決し、このお客さまに対する責務を誠実に果たし社会に貢献する。

【行動規範】

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正・忠実に職務を遂行する。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④ 職務の遂行に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱をする。
- ⑤ 事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標

区 分	目 標
鉄道運転事故（衝突・脱線・火災等の有責事故）	発生させない
インシデント（鉄道運転事故が発生する恐れのある事態）	発生させない

(3) 重点施策

- ① 問題点の早期把握による安全対策の推進
役職員相互の双方向コミュニケーションを活性化することにより、問題点を早期に把握し、迅速な対応を行う。
- ② 事故情報の確実な伝達と対策実施による再発防止
自社および他社の事故情報を迅速、正確に職員に伝達し、必要な対策を速やかに実施する。また、過去の事故事例を踏まえ現在の状況を検証するとともに、必要により見直すことで同種事故の再発防止を図る。

③ 事故発生時の対応力向上

事故想定訓練を定期的を実施し、その結果の振り返りや反省点をもとに対応に反映させることにより、各職員の事故対応力の向上を図る。

④ 管理監督者による事故防止の取組み

管理監督者による添乗指導等、現場作業への立ち合い実施により、気付き等を直接指導することで技能の向上と事故防止を図る。

2. 事故等の発生状況とその再発防止措置（2021年度）

(1) 鉄道運転事故

2021年度は、1件の踏切障害事故が発生いたしました。

11月7日8時30分頃八木沢～別所温泉間で別所温泉発の上り列車が、遮断桿が降りている比蘭樹踏切に進入してきた自動車と衝突し、3時間40分一部区間運休が発生しご迷惑をおかけいたしました。



(2) 輸送障害

2021年度運輸局へ報告の輸送障害（30分以上の遅延や運休の発生）

項目	件数	概要
自然災害	1件	雷雲発生による運休
設備車両故障等	3件	ブレーキ不緩解・起動不能等
列車妨害	1件	線路内に異物放置

(3) インシデント

国土交通省へ報告する、インシデントの発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

国土交通省より行政指導等はありませんでした。

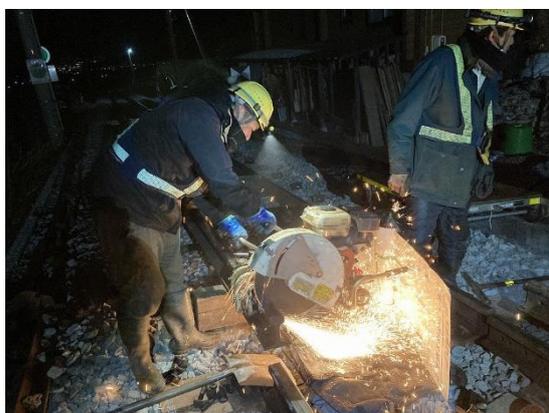
3. 安全確保の取組み

(1) 安全輸送対策工事

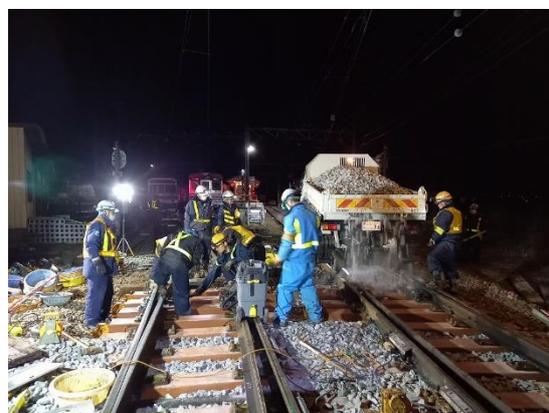
当社では安全安定輸送を継続するため、安全輸送対策に取り組んでいます。

2021年度 鉄軌道輸送対策整備工事 工事額 58,944 千円

事業名称	実施箇所
硬頭レール化	八木沢～別所温泉間 150m
コンクリート枕木化	上田～別所温泉間 239 本
合成枕木化	下之郷駅構内 88 本
軌道道床硬質構造化	大学前～下之郷間・城下～三好町間 計 90m
踏切保安装置更新	内堀踏切道



硬頭レール化



合成枕木化

2021年度 上田市安全対策費工事 工事額 37,162 千円

事業名称	実施箇所
発条転てつ機更新	城下駅・上田原駅・下之郷駅 計 6 台中 4 台
道床交換	上田～別所温泉間 89m
車両削正・交換	1001-1101 編成・1004-1104 編成
車両全般検査	1003-1103 編成



道床交換



発条転てつ機の更新

(2) 人材教育

- ・新規就業者には各部門担当者により業務に関する教育を実施、鉄道係員としての基礎知識を習得させています。
- ・運転、駅、技術の各担当係員には年間の教育訓練計画をもとに教育を行い、知識の充実、技術・技能の向上に努めています。
- ・毎月職員を対象に開催している「業務研究会」、各部門の会議内で自社および他社の事故事例を共有するとともに、事故発生の原因・背景・対策を学ばせることで、事故防止の要点を教育指導しています。

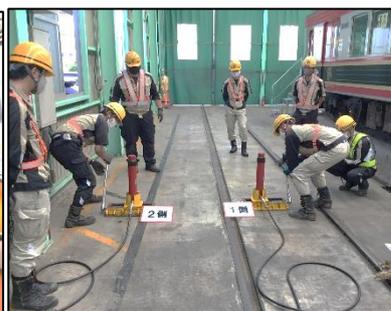
(3) 異常時の訓練

異常時を想定し上田警察署とテロ対策訓練として6月と12月に不審者対応訓練、お客様の避難誘導訓練を実施いたしました。

その他列車の脱線事故時に使用する脱線復旧機材の整備使用方の確認や緊急地震速報受信時の訓練等も実施いたしました。



テロ対策訓練



脱線復旧機材確認



緊急地震速報受信訓練

(ア) 安全推進会議（マネジメントレビュー）の開催

四半期ごとに安全推進会議（マネジメントレビュー）を開催して、過去に発生した運転支障（輸送障害、踏切障害等）の発生状況の再確認と原因・対策について振り返りを行い、対策内容の効果について検証ならびに確認を行っています。

また、事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットしたという情報を社内各職場より収集・共有し、問題の早期発見につなげています。

(イ) 夏季および年末年始輸送安全総点検時の社長、安全統括管理者による安全巡視で線路、踏切等の安全確保について確認を行いました。



夏季巡視



年末年始巡視

(ウ) 意見交換会等の開催

役職員相互の双方向コミュニケーションを踏まえた社長・安全統括管理者・運転管理者等による職員との面談等の実施、現場会議への参加などにより、職場環境の改善や安全意識の向上を図っています。

(エ) 新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策として、定期的な車内消毒や飛沫防止対策として駅や車両に仕切り板の設置、ポスター等によるマスク着用の呼びかけを行っています。

また、電車内の換気は窓開けの他全車両に飛沫感染防止対策として、低濃度オゾン発生装置の設置、接触感染防止対策として定期的な車内消毒を実施してきましたが、よりお客さまに安心して当社の車両をご利用いただくため、抗ウイルス・抗菌効果のある光触媒コーティングを全車両車内に実施いたしました。



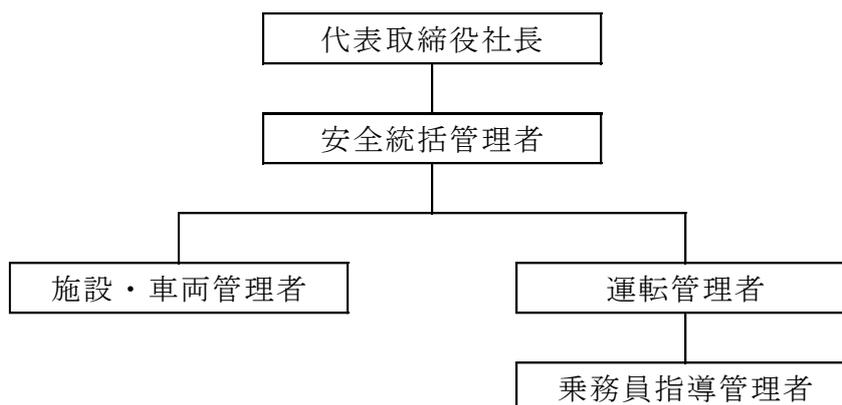
施工会社によるコーティング作業



車内ステッカー

4. 当社の安全管理体制

代表取締役社長	輸送の安全に関する業務の最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する
施設・車両管理者	安全統括管理者の下、施設・車両に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する



5. 発行 2022年 7月

6. 連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せください。

上田電鉄株式会社

長野県上田市下之郷498

TEL 0268-39-7117 (月～金 9時00分～17時00分)

FAX 0268-38-7951

E-mail unyu@ukg.co.jp